

# 輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2909号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

9/14

平成22年  
(2010)  
(火曜日)  
週刊

## 環境対策で競争力を

JA-LPA

## 環境で共同化不可欠

の技術も紹介した。「環境対策を、単なる社会的責任の面からだけではなく、競争力の強化へつなげる工夫が必要」(河田社長)。

蓄積された技術や情報などの共同化や共有化により倉庫間ネットワークを強化し、効率性を高めることが必要とした。

尾関良夫国土交通省政策統括官付参事官は、物流連携効率化推進事業や、モーダルシフトの促進、流通業務の総合化および効率化など、物流における環境施策を紹介。

高見牧人経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課長は、改正省エネ法の要点などを解説した。

関電工の牧野俊亮技術・事業開発本部エコンリユーシヨンプ部長は、LED照明器具や太陽光発電を紹介。LED照明の進化は速く、性能が良くなっていくので施設のし

ゅん工時期に合わせてLED照明を選ぶ必要があるとした。(西元 洋介)

日本物流不動産評価機構(JA-LPA)、望月

光政委員長) 推進協議会は三日、第四回セミナー「物流不動産と環境」を日本通運本社で開催。二百五十人が参加した。

イソコーポ総合研究所(本社・東京)の河田栄司社長は「エコ倉庫の事例と応用」をテーマに講演。

環境対策、国際的な企業評価基準や利用者の価値観の変化など、エコ倉庫が求められる背景を説明。遮熱塗料や緑化、LED照明などの環境対策